

献血にご協力 お願いします



和歌山県では1日に140名分の献血者が必要になります。

他に代わるものがない輸血用血液は、日々安定的に患者さんへお届けする必要があり、現代の医療が成り立たないことのないよう、そして、有効期間の短い輸血用血液を必要としている患者さんの命を守るために、輸血用血液の在庫量を適切な水準で維持していくことが極めて重要です。

令和7年7月10日(木)

時間：13:30～16:30

場所：和歌山ろうさい病院

献血カードのアプリができました！初めての方でも事前問診や予約が可能です。



二次元バーコードを読み取って
アプリダウンロード！

App Store
からダウンロード



Google Play
で手に入れよう



※Apple および Apple ロゴは米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。 ※App Store は Apple Inc. のサービスマークです。 ※Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。

※400mLのみの受付となります。基準については裏面を御覧ください

けんけつ car

献血はラブラッドアプリを ご利用ください

アプリやカードをお持ちでなくても献血の受付は可能ですが、
アプリによる献血のご予約・受付にご協力いただけますと幸いです。

献血カード・献血手帳の発行・更新は、令和8年1月4日(日)で終了します。

アプリで予約・受付

ポイントが貯まる

血液検査結果の確認

事前の問診回答

ダウンロードはこちらから!

iPhoneの方



※AppleおよびAppleロゴは米国
およびその他の国で登録された
Apple Inc.の商標です。
※App StoreはApple Inc.のサービ
スマークです。
※Google PlayおよびGoogle Play
ロゴは、Google LLCの商標です。

Androidの方



献血基準

献血される方の健康を守るために、献血できる基準があります。

献血の種類 項目	全血献血		成分献血	
	200mL献血	400mL献血	血しょう成分献血	血小板成分献血
1回献血量	200mL	400mL	600mL以下 (循環血液量の12%)	
年齢	16歳～69歳*1	男性17歳～69歳*1 女性18歳～69歳*1	18歳～69歳*1	男性18歳～69歳*1 女性18歳～54歳
体重	男性45Kg以上・女性40Kg以上	男女とも50Kg以上	男性45Kg以上・女性40Kg以上	
最高血圧	90mmHg以上 180mmHg未満			
最低血圧	50mmHg以上 110mmHg未満			
脈拍	40回/分以上 100回/分以下			
体温	37.5℃ 未満			
年間献血回数 *2 (1年52週として換算)	男性6回以内 女性4回以内	男性3回以内 女性2回以内	血小板成分献血1回を2回分に換算して 血しょう成分献血と合計で24回以内	
年間総献血量 *2 (1年52週として換算)	200mL献血と400mL献血を合わせて 男性1,200mL以内・女性800mL以内		—	—

*1 65歳から69歳までの方は、60歳から64歳までの間に献血の経験がある方に限られます。

*2 期間の計算は直近の採血を行った日から起算します。

このほか血色素量や血圧などの基準もあり、血液事前検査の結果によっては献血にご協力いただけないことがあります。

以下の項目に該当する場合は、献血される方と患者さんの安全のために 献血をご遠慮願っています。

- ① 3日以内に出血を伴う歯科治療(抜歯、歯石除去等)を受けた方
- ② 4週間以内に海外から帰国(入国)した方
- ③ 1ヵ月以内にピアスの穴をあけた方
- ④ エイズ検査が目的の方
- ⑤ 6ヵ月以内に下記に該当する方
 - (a) 不特定の異性または新たな異性との性的接触があった
 - (b) 男性どうしの性的接触があった
 - (c) 麻薬、覚せい剤を使用した
 - (d) 上記(a)～(c)に該当する人と性的接触をもった
- ⑥ 今までに下記に該当する方
 - (a) 輸血(自己血を除く)や臓器の移植を受けた
 - (b) ヒト由来プラセンタ注射薬を使用した
 - (c) 梅毒、C型肝炎、マラリア、シャーガス病にかかった



安全性確保のため献血は帰国後4週間以降にお願いします。

上記に該当されない方でも、献血される方や患者様の安全を確保するため、
健診医の判断によりご遠慮いただくことがありますので予めご了承ください。

献血可能な服薬剤

以下の薬は、献血**当日に服用されている場合でも**、原則として**献血にご協力いただけます**。

ただし、降圧剤を除き、一部例外もあるため**薬剤名が記載されたもの**(処方箋、お薬手帳又は実物等)をご持参ください。

また、**献血可能か否かの判断**は、薬の種類だけでなく、ご本人の体調、服薬目的、症状等を考慮し、**検診医が最終的な判断を行います**ので、ご理解下さい。

☞ 降圧剤(血圧を下げる薬)

複数服薬されていても献血可能。

☞ 健康増進のためのサプリメント(ビタミン剤、ミネラル剤など)

貧血治療中を除く。

☞ 胃腸薬・健胃薬・整腸剤・消化(酵素)剤

感染性下痢症状がある場合を除く。(制吐剤は当日不可)

☞ 漢方薬

肝疾患、感冒、喘息等のために服用されている場合を除く。

☞ 高脂血症治療薬(コレステロールを下げる薬)

エパデール、ロトリガ等、一部の治療薬を除く。

☞ 痛風・高尿酸血症治療薬

ラスリテックを除く。

☞ アレルギー治療薬(花粉症治療薬等)

肝疾患、感冒、喘息等のために服用されている場合を除く。

なお、花粉症治療薬については、セレスタミン等を除く。

(セレスタミン等ステロイド含有薬は服用中止後3日以上経過後採血可)

☞ 少量の女性ホルモン・避妊薬(ピル)

更年期障害や月経困難症などの補充療法に服用されている場合は献血可能。

但し、緊急ピルの場合は除く。

☞ 局所投与の薬物(点鼻薬、点眼薬、塗り薬、貼り薬)

広範囲に使用されたり、感染症による場合を除く。

☞ 抗潰瘍薬

潰瘍予防薬として服用された場合は献血可能。

☞ 緩下剤

前日までの服薬又は服薬中止後3日以上経過していれば、 献血にご協力いただける主な服薬剤

一部例外もあるため**薬剤名が記載されたもの**(処方箋、お薬手帳又は実物等)を**ご持参ください**。
また、**献血可能か否かの判断**は、献血可能な服薬剤と同じく、薬の種類だけでなく、ご本人の体調、服薬目的、症状等を考慮し、**検診医が最終的な判断を行います**ので、ご理解下さい。

□ 当日服用していなければ採血可能な薬剤(前日まで服用可)

☞ 睡眠薬、抗不安剤(安定剤)、鎮静剤

☞ 解熱鎮痛消炎剤(非ステロイド系)・風邪薬

症状がない場合や軽い頭痛、生理痛等に頓用した場合で、当日服用していなければ献血可能。
但し、血小板成分献血の場合は、服用中止後3日以上経過後採血可。

☞ 消炎酵素製剤

□ 服薬中止から3日以上経過していれば採血可能な薬剤

☞ 抗精神剤、抗うつ薬

抗不安剤、安定剤を除く。

☞ 抗菌薬

抗生物質、合成抗菌薬など。

☞ 抗真菌薬

☞ 抗結核薬

☞ 抗ウイルス薬

☞ 止痢薬

☞ 痛風発作治療薬

☞ 事後に服用する緊急ピル

☞ 喘息治療薬

最近の発作の有無を考慮する。

原則として献血をお願いできないもの

皆様の健康(原疾患など)を総合的に医師が判断し、献血をお願いできない場合があります。
原疾患治癒後、服用が不要となった場合、改めて献血可能か判断いたします。

☞ 糖尿病治療薬(インシュリン、経口血糖降下剤)

☞ 狭心症治療薬

☞ 抗不整脈薬

☞ 抗血栓薬

☞ 抗腫瘍薬